

午前10時00分

○委員長（島 昌之）

- ・ 欠席委員連絡（高橋委員）
-

午前10時00分開議

○委員長（島 昌之）

- ・ 開会宣告
 - ・ 議題の確認
-

1 調査事件

- (1) 「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」調査報告書について

○委員長（島 昌之）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、本日付で企画部から資料が配付されたところである。
- ・ その内容について説明を受けるため、理事者の出席を求めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ それでは入室を求める。

（企画部 入室）

○委員長（島 昌之）

- ・ それでは本件に係る資料についての説明をお願いします。

○企画部計画推進室新幹線対策担当課長（升田 幸司）

- ・ それでは私のほうから、「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」調査報告書（概要版）に基づき、報告させていただきます。
- ・ 資料説明：「新幹線等の函館駅乗り入れに関する調査業務」調査報告書（概要版）（令和6年3月29日付企画部調製）
- ・ 調査結果の説明は以上となるが、今後、関係機関、関係団体の皆様に調査結果を御説明してまいりたいと考えているほか、市民の皆様へも広報紙などを通じて、調査結果をお知らせする予定である。

○委員長（島 昌之）

- ・ お聞きのとおりである。
- ・ 本件について、本日資料が配付されたところであり、内容について十分な精査ができていないと思うので、正副としては、本日は資料の説明を聞き置くにとどめ、後日改めて調査を行いたいと考えているので、御了承願う。
- ・ 現時点で何か御発言あるか。

○福島 恭二委員

- ・ 提案は委員長の提案とおりでいいが、確かに今日もらって、これだけボリュームのあるものをすぐに質疑できる状況にはないことはそのとおりである。これは当然役所の作ったものでない中で、単価の根拠だとか、あるいは調査地点だとか、様々な点で質疑があるかと思う。一応、今日は聞き置く程

度で、後日具体的にやるとすれば、一定程度、それぞれの質疑事項等についてあらかじめ申し出ておいて、そして、適切な答弁をいただくような形にしたらどうかと思う。これは従来の予算特別委員会での論点整理だとかでやっているような方法に近いが、そういうことでスムーズに会議が進められるように、そういう申出をして、そして、函館市で答弁できるものは答弁できるようにすればいいが、やっぱり業者にあらかじめ聞いて、そして、答弁しなければならない問題もあるかと思う。そういう方式にしたらどうかということで、御提案申し上げたい。

○工藤 篤委員

- ・ 一通り聞いて、これは改めて検討し直さなければならないとは思いますが、当時——平成23年に断念したというか、あれは平成23年頃だったよね、福島委員。あのときの私の記憶が間違っていたら訂正願いたい、函館に持って来るのには1,000億円ぐらい余計に経費がかかるという話が当時あったように記憶している。それから見ると、160億円ぐらいであるから相当少なくなっている。
- ・ その当時の1,000億円という数字が、どこから出てどういうふうなものであったのかということ、やっぱり今検証しておく必要があるのではないかと思うので、ぜひ企画部のほうで当時の資料等をもう1回遡って事実関係を明らかにしてほしいと思う。
- ・ 当時は函館駅に乗り入れしないという方向性の中で、1,000億円という数字が出てきたように記憶しているから、それと対比した場合には、比較的に相当に低い金額になっている。どっちが本当なのかとってしまうので、ぜひその辺の事情を検証して教えてもらいたい。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 今日、この説明を聞いて、私たちもこれから検証していかなければいけないが、もうマスコミには相当詳しく出ていて、それで市長としての見解を、どこでどういうふうに市民に説明するのか。そこら辺は今どのように考えているのか。
- ・ 北海道新聞を見ると、相当詳しく書かれている。私たちも今日、先ほどこの資料が送られてきて、今初めて見て説明を受けるわけだが、道新を市民の皆さんが見ていて、私たちのところにも問い合わせが来ている。
- ・ それで先ほど言ったように市長がどのような立場でどう説明するのかというあたりは、どのように考えているのか。

○企画部長（阿部 慶太）

- ・ まず、1つ目の市長の考え方については、先ほど担当課長のほうからも説明をさせていただいたが、現時点ではまだ調査結果が出たばかりという状況になっている。私どもとしても、今後こういった内容も含めて関係機関と協議する中で、そういったことについては進めてまいりたいと考えている。
- ・ それから昨日の新聞報道の件については、正直、私どもとすれば、報道内容の一部が調査内容の一部ということを知っているが、どのような情報をどのような形で知り得たのかについては、残念ながら不明である。
- ・ 今後においては、改めて情報管理を徹底してまいりたいと考えている。

○委員長（島 昌之）

- ・ 確認するが、福島委員のほうからは論点をきちんと出していただき、次回の委員協議会で質疑に当

たっではどうか、それから工藤委員のほうからは平成23年頃に出された1,000億円について、その根拠となるものがどういうところから出ていたのかという話があったが、それについても論点の1項目として出していただき、答弁していただくような方向で進めていきたいと思っているが、それでよろしいか。（異議なし）

- ・ ほかに発言あるか。（なし）
- ・ 発言を終結する。
- ・ ここで理事者は御退出願う。

（企画部 退出）

- ・ 先ほど申し上げたとおり、後日日程調整の上で、改めて本件について調査を行いたいと考えている。
- ・ 論点等についても、提出時期を皆様にお諮りしながら進めていきたいと思うので、よろしく願います。
- ・ 議題終結宣言

2 その他

○委員長（島 昌之）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時47分散会